

航空重大インシデント調査の経過報告について

平成17年11月25日
国土交通省 航空・鉄道事故調査委員会

平成16年11月21日(日)、高知空港で発生した、株式会社エアーニッポンネットワーク所属ボンバルディア式DHC-8-402型JA841Aの航空重大インシデントについて、当委員会において重大インシデント発生以来、鋭意調査を進めてきたところである。基本的な調査はほぼ終了しているが、今後、国際民間航空条約に基づき本重大インシデント調査参加国(カナダ国)に意見照会を行い、その回答が来るまでに時間を要すること等から、最終的に報告書を取りまとめるまでになお時間を要すると見込まれる。

しかしながら、同様事例により事故発生に至ることを防止する観点から、本重大インシデントの概要及び本重大インシデント調査の経過を報告し、公表することとした。

なお、本経過報告の内容については、今後更に新しい情報や状況が判明した場合、変更することがあり得る。

株式会社エアーニッポンネットワーク所属ボンバルディア式
DHC - 8 - 402型JA841Aに係る航空重大インシデント調査について
(経過報告)

1. 航空重大インシデント調査の概要

- (1) 発生場所 高知空港
- (2) 発生日時 平成16年11月21日 14時24分ごろ
- (3) 運航者 株式会社エアーニッポンネットワーク
(以下「同社」という。)
- (4) 航空機 型式 ボンバルディア式DHC - 8 - 402型
国籍及び登録記号 JA841A
製造年月日 平成15年6月21日
- (5) 運航形態 定期(ANA1617便)
同社は、全日本空輸株式会社と運送の共同引受をし、エアーニッポン株式会社へ運航及び整備に関する業務の管理の委託を行っていた。
- (6) 出発地/目的地 大阪国際空港/高知空港
- (7) 搭乗者数 乗客15名、乗務員4名
- (8) 負傷者数 なし
- (9) 航空機の損傷 なし
- (10) 運航乗務員
機長 男性 53歳
技能証明 定期運送用操縦士技能証明書(飛行機) 昭和63年12月16日
限定事項 デ・ハビランド式DHC8型 平成15年8月27日
第1種航空身体検査証明書
有効期限 平成17年5月14日
総飛行時間 14,530時間37分
最近30日間の飛行時間 38時間35分
同型式機による飛行時間 525時間00分
最近30日間の飛行時間 38時間35分
- (11) 気象
高知空港の重大インシデント関連時間帯の航空気象の観測値は、次のとおりであった。
14時00分 風向 030°、風速 15 kt、卓越視程 25 km、雲 雲量
1/8 雲形 積雲 雲底の高さ 3,000 ft、気温 17、

露点温度 3 、高度計規正值 (Q N H) 3 0 . 0 9 inHg

(12) D F D R 及び C V R

同機には、D F D R 及び C V R が搭載されており、本重大インシデント発生当時の記録が残されていた。

(13) 航空重大インシデント発生の概要

本件は、航空法施行規則第 1 6 6 条の 4 第 3 号に規定された「滑走路からの逸脱 (航空機が自ら地上走行できなくなった場合に限る。) 」に該当し、航空重大インシデントとして取り扱われることとなったものである。

同社所属ボンバルディア式 D H C - 8 - 4 0 2 型 J A 8 4 1 A は、平成 1 6 年 1 1 月 2 1 日 (日) 、同機による運送の共同引受をしていた全日本空輸株式会社の定期 1 6 1 7 便として、1 3 時 5 1 分に大阪国際空港を離陸し、目的地である高知空港の滑走路 3 2 に着陸した際、右主車輪が滑走路から逸脱して停止した。

2 . 重大インシデント調査の概要

航空・鉄道事故調査委員会は、平成 1 6 年 1 1 月 2 2 日、本重大インシデントの調査を担当する主管調査官ほか 2 名の航空事故調査官を指名し、調査を開始した。

また、本調査には、重大インシデント機の設計・製造国であるカナダ国の代表が調査に参加した。

現時点までの主な調査事項は、以下のとおりである。

- (1) 現場調査
- (2) 飛行記録装置及び操縦室用音声記録装置の記録解析
- (3) 口述聴取
- (4) カナダ国運輸安全委員会 (T S B) の協力を得て、米国の修理業者における本重大インシデントに関する装備品の調査

3 . 参考情報

これまでの調査結果により判明した、本重大インシデントに関する参考情報は、以下のとおりである。

3.1 ステアリング・コントロール・ユニットの記録部に、ステアリング・システムの不具合が記録されていた。

3.2 同社は、製造会社から発行されていたステアリングの不作動に関する注意文書に基づき、ステアリング不作動発生原因及びステアリングを確実に作動させるための情報を運航乗務員へ周知し、運航乗務員へステアリング不作動時の対応についての訓練を開始した。